

オーストラリアで感じた違いについて

藍住東中学校 大平落 颯花

私が初めてのオーストラリア留学で感じたことについて話したいと思います。

初めは言葉が聞き取れるのかが不安でした。しかし、ホストファミリーやバディが分かりやすいように簡単な英語にして何度でも話してくれたので安心しました。そして、過ごした中で感じた違いについて次の二つにまとめました。

一つ目は学校のスタイルの違いです。行った学校ではモーニングティーの時間があります。11時くらいから始まる休み時間で友達とお菓子を食べたり遊んだりする時間です。この時間は売店や食堂で売られているケーキなどを友達やバディと買ったりお菓子を分け合ったりして、たのしかったです。また、日本の先生よりも生徒と一緒にスポーツをしたり話したりして距離が近いように感じました。陽気な雰囲気のおかげで、バディの友達や兄弟とも話をできたので仲良くなれました。ほかにも、授業は時間や雰囲気が緩く始まって終わるので自分には居心地がいいなと思いました。そして、日本と違って生徒が受ける授業の教室に移動し教科書は教室から自分で取っていることに驚きました。また、机を移動させてもよいので友達と一冊の教科書を使っている人もいました。体育の授業では、YouTubeから簡単なダンス動画を見て皆で踊ったり曲に合わせて自分たちで振付を考えたりしていて面白かったです。また別の日の体育では自分のやりたいスポーツをえらぶことができました。いろいろな授業を受けましたが、一番心に残った授業はグループで推理をする授業でした。先生が事件現場を実際に作ってくれていて、バディの人たちと現場を見た後、グループで話し合っって犯人をみつけだすものでした。



日本ではこのような授業を受けたことがなかったので、誰かと一緒に考えて、答えに近づいていく過程がとてものしかったです。オーストラリアは自由な風土で学校生活を受けていたのでいいなと思いました。

二つ目は家庭でのスタイルの違いです。最初に驚いたのはお風呂です。日本は浴室と脱衣所が別れていて湯船とシャワーも別ですがオーストラリアではお湯を貯めることはあまりないので湯船の上にシャワーがありました。なぜお湯を貯めないのかということ、タンクにあらかじめお湯を作っておいてそのお湯が終わったら水しか出なくなるからです。また、ホームステイをしていた時に、ホストファミリーがお風呂に入っている姿をあまり見ていないなと思いました。そこで調べてみると、オーストラリアの人はたまにしかお風呂に入らないそうです。そのことを知ったとき日本人はきれい好きなんだなと思いました。次に驚いたのは夕方には家族がそろって六時ごろから夜ご飯が食べられることです。日本では平日の夕方六時から家族そろって夜ご飯を食べている家族は少ないと思います。しかし、オーストラリアでは家族そろって食べるのが一般的だそうです。私の家でも平日の六時から家族でご飯を食べることが少なくなっているのが理想的だなと思いました。

最後は寝る時間です。ホストファミリーは9時には自分たちの部屋で寝ていたので初日にリビングに行ったら誰もいなくて「寝るのはやっ」とおもいました。いつも家では十時くらいに寝ます。休みの日はもっと遅くに寝ているので衝撃でした。

これらの違いを知ってオーストラリアの方がいいなと思ったこともあれば日本の方がいいなと思ったこともあって国や文化の違いを知るのは楽しかったです。ホストファミリーが家族のように接してくれたおかげで帰ったときに自分の家なのに、人の家のような気がしました。お母さんが今年の冬ぐらいに私の家にもホームステイする子が来ると言っていたのでその子の生活の違いについても知って仲良くなりたいとおもいました。

